

令和3年度 第2回あきる野市自殺対策推進協議会（書面開催）報告

2 議事 (1) 自殺の現状と関連する状況について

番号	委員からの意見	事務局コメント
1	<p>【イ】には、「児童、生徒の自殺数が増加（特に、女子の中学生と高校生）」とありますが、2019（R1）年と2020（R2）年・2021（R3）年とで大きな変化が生じています。</p> <p>この増加が、資料2.の4.「一人ひとりが安心して生きることへの支援」の「教育相談事業」で、教育相談所の相談業務（来室・電話）の増加傾向と関連するのであれば、本市においても、今後の新型コロナの感染再拡大に備えたさらなる（特に休校時の）対策が急がれます。</p>	<p>・本市における児童、生徒の自殺対策について、市教育委員会と連携を図り、さらなる対策の必要性を検討してまいります。</p>
2	<p>【エ】では、あきる野市の特徴として「男性60歳以上有職同居が上位」とありますが、当該者の職業や周辺状況に何らかの共通性は認められるのでしょうか。ご多忙のこととは思いますが、もし、調査できれば、自殺防止対策の標的が見えてくるかも知れません。</p>	<p>・プロフィールのデータ、自殺統計のデータ等で分析し、令和4年度の自殺対策庁内連絡会及び自殺対策推進協議会において報告させていただきます。</p>
3	<p>あきる野市においても、男女ひとりづつ自殺があったことに非常にショックを受けています。</p> <p>→出来たらあきる野市だけの年代別推移を取上げて欲しかったです。</p>	<p>・今回ご報告いたしました自殺統計は、令和3年の月別自殺者数の暫定値のみ公表されており、年齢別の統計は公表されておりました。令和3年の確定値につきましては、令和4年度第1回自殺対策推進協議会において報告させていただきます。</p> <p>・各市町村の自殺統計につきましては、自殺者数が5人以下の場合、個人が特定される可能性があるため、公表してはならない決まりとなっております。あきる野市の自殺者数を年代別で分類しますと、5人以下の数値になることから、公表を控えさせていただきます。</p>

(2) 庁内の自殺対策の取組状況について

番号	委員からの意見	事務局コメント
1	<p>(1)でも触れたことですが、4.「一人ひとりが安心して生きることへの支援」には、「教育相談事業」で、教育相談所の「来室相談」「電話相談」とも増加傾向にあると記されています。これは資料1.の「イ」で指摘されている女子の中高生にみられる全国的な傾向と関連しているのかどうかについて、本市における中高生男女別の相談内容別件数と照合してみる必要があると思います。もし、全国と連動する傾向であれば、この世代の女子への対策が急がれます。</p>	<p>・頂きましたご意見を市教育委員会と情報共有し、次回の庁内連絡会で対策等について協議いたします。その内容につきまして、令和4年度第1回自殺対策推進協議会において報告させていただきます。</p>
2	<p>「臨床心理士による巡回」はスクールカウンセラーとは別な取り組みかと思いますが、その頻度は生徒達との関係構築を担保するだけの回数を確保する必要がありますが、この点は如何でしょうか。また、相談内容に関する守秘義務については、チーム学校におけるガバナンスとの間でのコンセンサスを明文化しておくとういことかと思えます（都のレベルで作成済みならば不要かも知れません）。</p>	
3	<p>誰でも生きていく上で、1度や2度死んでしまいたい衝動に駆られることは持っているものです。それが自殺の行為に至ってしまったことに衝撃です。自殺は罪です。ですから、思いとどまって生きて欲しいので、行政を始め、社会や地域、皆で何らかの行動を進めてゆきたいです。</p>	<p>・追い込まれた末に死を選ぶことがないように、生きていくことへの支援を進めてまいります。行政のみならず、家族や友人、地域の方々のご協力をいただき、自殺対策が地域ぐるみで推進されるよう、努めてまいります。</p>

4	各事業所か、色々な企画を考えて活動されている事は頭の下がる思いです。コロナ禍で中止になったり、実行できなかった事は残念です。私の周りには訪問内では見られませんが、若い方(子育て中)への係わりがないので、これからは目を向けていかないといけないと思っています。自治会役員会には身守り等お願いしています。気づいた事は連絡下さいの声かけも。	<ul style="list-style-type: none"> 各課の中止していた事業が再開し始めると同時に、自殺対策の取組も進められるよう、各課への周知及び協力依頼を継続してまいります。
5	あきる野市内で自殺しそうな所があれば、そういう所の見回りなどがあれば、未然に防げることもあるのかと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 自殺の手段としましては、「首つり」が最も多く、60%以上の方が亡くなっています。自殺場所としましては、「自宅等」が最も多く、60%前後が自宅等で亡くなっています。自宅に同居家族がいる場合、家族が第一発見者になる可能性が高いと思われまます。 周囲の方の見守りや家族や友人など身近な人からの声かけで、救われる命があります。日頃からの地域とのふれあいが、自殺対策にも繋がることから、今後も周知啓発活動を継続してまいります。

※ご質問がありましたらご記入ください。

番号	委員からの意見	事務局コメント
1	あきる野市で相談できる所があるのでしょうか。又、ボランティアとして、一緒にお話し出来る場があればいいのではないかと思います。	<ul style="list-style-type: none"> あきる野市の「こころといのちの相談窓口」は、健康課健康づくり係が担当しております。その他、各課の相談窓口においても、相談対応しており、情報共有する場合があります。 相談者の中には、「傾聴ボランティアの人に話を聞いてもらっていたが、コロナ禍で誰にも話ができなくなった」という方が、複数おられました。ボランティアを含め、相談者の方が活用できる社会資源などの情報を収集し、提供できるよう努めてまいります。

※その他、本協議会に関する意見や健康課への連絡事項がございましたらご記入ください。

番号	委員からの意見	事務局コメント
1	本委員会に限らず、書面会議では委員間の双方向的な意見交換は難しいと言えます。委員や市職員の発言に触発されて、あきる野市に特有の問題が浮き彫りとなったり、また、あきる野市によりフィットした対策を打ち出せるかもしれない。ということで、対面会議は難しいとしても、Zoom等を利用したオンライン会議の可能性もご検討ください。	<ul style="list-style-type: none"> 頂きましたご意見を踏まえ、今後の会議の運営方法につきまして、検討してまいります。
2	コロナウイルス感染症の中ではありますが、委員全員が一同に集まる機会を作りたい。	<ul style="list-style-type: none"> いただきましたご意見を踏まえ、今後の会議の運営方法につきましては、委員の皆様とコミュニケーションが取れる方法を検討してまいります。
3	もう少し余裕を持ったの日程での郵送をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> 会議開催が遅くなり、委員の皆様へ配慮が足らず、大変申し訳ございませんでした。そのような締切の短い中、また年度末のお忙しい時期に貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございます。今後は、開催時期について十分に注意してまいります。
4	私は保育士の資格しか持っていませんが、会議があったら参加していろいろな話を聞いてみたかったと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 委員の皆様のご意見が会議の場で聞いていただけるよう、会議の運営方法につきまして検討してまいります。